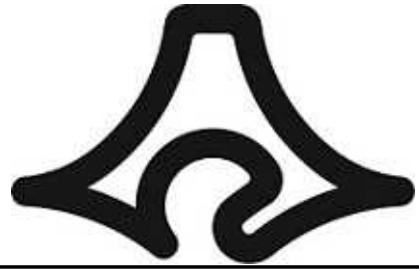


提供日 2024/06/26
タイトル 蚊に御注意ください！～蚊が媒介する感染症があります～
担当 健康福祉部 医療局感染症対策課
連絡先 静岡県感染症管理センター
TEL 055-928-7220



蚊が媒介する感染症に気を付けましょう！ ～注意喚起のポスターを作成しました～

1 要旨

病原体ウイルスを持つ蚊に刺された場合、デング熱やジカウイルス感染症等の感染症を発症する恐れがあります。2023年には県内で蚊に刺されたことによると思われる、日本脳炎の感染事例がありました。海外ではその他にも、マラリア、ウエストナイル熱、黄熱等、蚊が媒介する感染症の流行が見られる地域もあります。

現在、国内で流行している感染症はありませんので、蚊に刺されただけで過分に心配する必要はありませんが、蚊が増える時期を迎えますので、感染予防に努めましょう。

県では、包括連携協定を締結しているアース製薬株式会社に御協力いただき、蚊に対する注意喚起のポスターを作成しました。事業所等の人が集まる場所への掲示に御活用ください。

県HP「感染症情報センター」からダウンロード可能です。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

<ポスター送付を御希望の方へ>

印刷したポスターを送付することもできます。感染症対策課宛Eメールにて、「郵便番号」「御住所」「お名前」「希望送付枚数」を御連絡ください。

Eメールアドレス kansentaisaku@pref.shizuoka.lg.jp

- ポスターはB3版(515mm×364mm)縦型です。4つ折りにて郵送します。
- 数に限りがありますので、御希望に添えない場合があります。

2 蚊が媒介する主な感染症について

<デング熱>

【感染経路】

東南アジア・中南米・アフリカなど熱帯・亜熱帯地域で主に発生しています。国内では、ヤブカの一種「ヒトスジシマカ」が媒介します。ヒト-蚊-ヒトの感染経路をとり、ヒトからヒトへ感染することはありません。蚊から蚊へウイルスが媒介されることはなく、卵を介して次世代にウイルスが伝わることは報告されたことはありません。2014年に約70年ぶりに国内での感染事例（県内患者を含む）がありました。

【症状・治療方法等】

潜伏期間は通常3～7日で、突然の発熱、発疹、頭痛等を呈します。通常、発症後2～7日で解熱し、予後は比較的良好な感染症ですが、発症者の1～5%が出血傾向やショック症状を呈し、重症となることがあります。根治療法はなく、対症療法を行います。ワクチンはありません。

【デング熱の最近の患者数（人）】 令和6年は暫定値(6月26日時点)

年	平成29年 (2017年)	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
全国	245	201	461	45	8	98	176	88
静岡県	1	6	6	2	0	1	3	2

※国内での感染が推定された県内患者が平成26年（2014年）に2人あり（その他は海外での感染）

3 県民の皆様へ

(1) 蚊に刺されないようにしましょう

- 屋外で活動する際には、長袖・長ズボンを着用する、素足やサンダルを避けるなど、肌の露出を少なくしましょう。
- 虫よけ剤を使用しましょう。虫よけ剤は効果のある時間が限られていますので、長時間、屋外で活動する際には、こまめに使用しましょう。
- 蚊が室内に入らないように、ドアや窓の開け閉めを減らし、網戸を使用しましょう。

(2) 日本脳炎の予防接種を受けましょう

- 日本脳炎の予防接種は小児の定期接種として受けることができます。接種対象者は、お早めの接種を御検討ください。定期接種に関する詳細は、各市町に御確認ください。

(3) 蚊の発生を抑えましょう

- 蚊は、タイヤに溜まった水、鉢植えの皿など、少しの水が溜まる場所で発生します。屋外に雨水等が長時間溜まる物を置かないようにしましょう。
- 室内の花瓶の水などは、最低週1回は換えましょう。

(4) 蚊が媒介する感染症の流行国への渡航について

- 海外の流行地へ渡航する際には蚊に刺されないよう十分に気を付け、帰国後、発熱などの症状がある場合には、医療機関を受診してください。
- 妊婦及び妊娠を希望予定の方はジカウイルス感染症の流行国・地域への渡航及び滞在は可能な限りお控えください。

【参考】

<デング熱に関する情報>

厚生労働省ホームページ

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever.html

国立感染症研究所ホームページ

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/238-dengue-info.html>

政府広報オンライン

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201509/1.html>

<ジカウイルス感染症に関する情報>

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

国立感染症研究所ホームページ

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/6224-zika-fever-info.html>

<日本脳炎に関する情報>

厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou20/japanese_encephalitis.html

国立感染症研究所ホームページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/449-je-intro.html>

<海外へ渡航される皆様へ>

検疫所ホームページ

https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html

えっ

静岡県とアース製薬は包括連携協定を締結し、蚊・マダニ媒介感染症対策に取り組んでいます。

静岡県 × EARTH アース製薬

蚊って

かゆいだけ
じゃないの？



©静岡県

蚊に刺されると感染症にかかる
可能性があるよ！

【蚊が媒介する感染症】 デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症・日本脳炎など

効果的な対策

肌を露出しない服装

防除用医薬部外品 虫よけ剤の使用

明るい色の帽子
頭部を蚊から守るため

長袖
厚手のものが
好ましい

スカーフ
首や胸元を
蚊から守るため

長ズボン
ズボンのすそを
靴下の中に入れて
守りは完全に

靴、スニーカー
肌が出るサンダルなどは
刺される可能性あり

全体的に
明るい色を選ぶ

蚊は黒い服に集まり
やすいので要注意



©静岡県

虫よけ剤を使用して
蚊に刺されるのを
防ぎましょう



虫よけ剤の正しい塗り方



腕・足などお肌の露出
部分には約15cmの
距離からスプレーし
てください。

顔・首筋には手のひら
にスプレーしてお肌
に塗ってください。

塗りムラのないよう
に伸ばして塗り広げ
てください。

※汗をかくと虫よけ剤が流れてしまうので、その都度塗り直すことが大切です。

山や森など蚊の多い場所に行く場合は、肌が露出しない厚手の服装を。蚊は汗の臭いにも寄ってくるのでこまめに汗を拭くタオル類もお忘れなく。

きちんと塗ったつもりでも、蚊は塗りムラ部分を見つけて刺してくるので、虫よけ剤は「塗りムラなく塗る」ことが大切です。



アース製薬は、「地球を、キモチいい家に。」をスローガンとして、これからも世界中のより多くの人々の暮らしに寄り添い、さらに豊かで快適な生活を実現できるよう貢献してまいります。